

平成22年度（2010年度）日本留学試験

# 日本語

(125分)

**I 試験全体に関する注意**

1. 係員の許可なしに、部屋の外に出ることはできません。
2. この問題冊子を持ち帰ることはできません。

**II 問題冊子に関する注意**

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
2. 試験開始の合図があったら、下の欄に、受験番号と名前を、受験票と同じように記入してください。
3. 問題は、記述・読解・聴読解・聴解の四つの部分に分かれています。それぞれの問題は、以下のページにあります。

	ページ
記述	1～3
読解	5～27
聴読解	29～43
聴解	45～48

4. 各部分の解答は、指示にしたがって始めてください。指示されていない部分を開いてはいけません。
5. 足りないページがあったら手をあげて知らせてください。
6. 問題冊子には、メモなどを書いてもいいです。

**III 解答用紙に関する注意**

1. 解答は、解答用紙に鉛筆（HB）で記入してください。
2. 記述の解答は、記述用の解答用紙に日本語で書いてください。  
読解・聴読解・聴解の問題には、その解答を記入する行の番号 **1**、**2**、**3**、…がついています。解答用紙（マークシート）の対応する解答欄にマークしてください。
3. 解答用紙に書いてある注意事項も必ず読んでください。

※ 試験開始の合図があったら、必ず受験番号と名前を記入してください。

受験番号			*				*						
名前													

# 記述問題

## 説明

記述問題は、二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで、記述の解答用紙に書いてください（解答用紙には、テーマの番号を書く必要はありません）。

文章は横書きで書いてください。

解答用紙の裏（何も印刷されていない面）には、何も書かないでください。

## 記述問題

以下の二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで400字から500字で書いてください  
(句読点を含む)。

- ① 最近、インターネット上でもニュースを読むことができるようになりました。このような中で「ニュースは新聞で読むほうが世の中の動きがよくわかる」という意見があります。これについて、ニュースをインターネット上で読むことと新聞で読むことを比較し、あなたの意見を書いてください。
- ② ある大学では、入学試験の方法として「学科試験を廃止し、面接試験だけで合格者を決めよう」という案が出ています。このような方法の長所と短所を説明し、あなたの意見を書いてください。

—— このページには問題はありません。 ——

# 読解問題

## 説明

読解問題は、問題冊子に書かれていることを読んで答えてください。

選択肢1, 2, 3, 4の中から答えを一つだけ選び、読解の解答欄にマークしてください。

I 次の文章で、筆者の考える「未知との遭遇」とはどのようなものですか。

1

若者によくある誤解がある。知らない世界を見ることが、未知との遭遇だと思っているのである。だから「自分探し」に、イラクまで行ってしまふ。未知がイラクにあるのではない。「自分が同じ」だから、世界が同じに見えるのである。それで「退屈だ」なんて贅<sup>ぜい</sup>沢<sup>たく</sup>をいう。知らない環境に入れば、自分が変わらざるをえない。だから未知の世界は「面白い」のである。

「変わった」自分はいままでとは「違った」世界を見る。自分が変われば、世界全体が微妙にずれて見える。大げさにいうなら、世界全体が違ってしまふ。それが「面白い」。つまり「未知との遭遇」とは、本質的には新しい自分との遭遇であつて、未知の環境との遭遇ではない。そこを誤解するから、若者はえてして自分を変えず、周囲を変えようとする。

(養老孟司『無思想の発見』筑摩書房)

1. 知らない世界を見ること
2. 自分の周囲の変化に気づくこと
3. 世界全体の変化を感じる事
4. 変化した自分に出会うこと

Ⅱ 次の文章で筆者は、ことばの「定義」について何と述べていますか。

2

その項目の執筆者が、自分の説に従ってそのことばを定義し、その定義だけしか書いてくれないのは、辞書としてはたいへん困る。ひいた人はそういう定義だと思ってしまうが、その定義は世の中に通用しているものとはちがうのである。執筆者は自分の主張が正しいと信じ、その体系で「世直し」をしようと思っている。しかし、世の中はそうかんたんに「直す」ものではない。

\*文部省による「学術用語」制定も、「世直し」の一つである。常用漢字も同じことだ。そのどちらも、世間に完全に受け入れられたことはない。

昔からいわれるとおり、ことばは生きものである。どこかの権威によって統一されたり、整理されたりするものではないし、正しいとか正しくないとか裁定されるものではない。いろいろなものがいり混って、ごちゃごちゃと動いてゆくうちに、おのずから落ち着いてくるものなのだ。

(日高敏隆「ある辞書づくりの体験から」岩波新書編集部編『辞書を語る』岩波書店)

\*文部省：現在は「文部科学省」

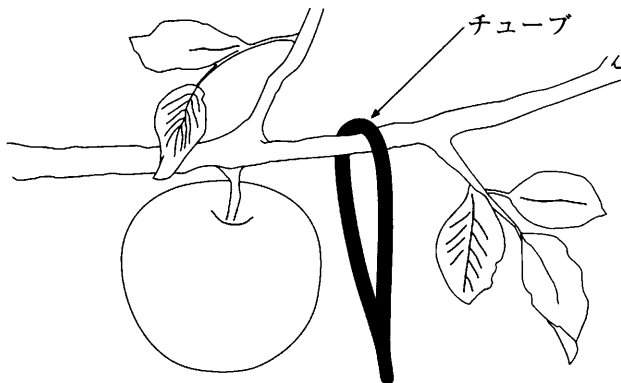
1. ことばの「定義」は、自然に決まっていくものだ。
2. ことばの「定義」は、辞書が正しく決めなければならない。
3. ことばの「定義」は、権威ある学者が書くものだ。
4. ことばの「定義」は、文部省が統一すべきだ。

Ⅲ 次の文章は、ガという害虫の被害を防ぐための防虫剤について述べています。この防虫剤は果物の木に取り付けるチューブ状の物ですが、その特徴はどれですか。 3

チューブの中には、合成されたガのメスの性フェロモン物質がぎっしりと詰まっている。その濃度は、メス1匹分の数万倍にも達する。

このチューブは新手の「防虫剤」だ。ガのメスは交尾の際、その種ごとに特有の性フェロモンを出す。オスはそのにおいに惹かれメスを探し当てる。性フェロモンを畑一帯に充満させることで、オスとメスの間の交信をかき乱し、交尾させないようにできる。害虫の繁殖を抑えられるうえ、果実への残留もない。食の安全に関心が高まるなか、殺虫剤を減らす防除技術として注目が高まっている。

(中川透『「ほれ薬」で害虫防除』朝日新聞2009年7月4日)



1. 害虫が動けないようにする。
2. 害虫の卵を駆除する。
3. 害虫の生殖行動を妨げる。
4. 害虫のメスの数を減らす。



Ⅳ 次の文章は、日本語のコースについてのお知らせです。

内容と合っているものはどれですか。

4

### <日本語夏期集中コース>

申込方法：受講申込書に必要事項を記入のうえ、留学生センター事務室に提出してください。

申込期限：7月9日（金）正午まで

クラス分けテスト：7月9日（金）17時から、共通教育棟1A教室で、クラス分けのためのテストを行いますので必ず受けてください。春のコース受講者も必ず受けてください。テストを受けないと、コースの受講は認められません。

結果発表：クラス分けの結果は、7月13日（火）の午後に、留学生センターの掲示板に貼り出します。自分のクラスと教室を確認して、第1回目の授業に出席してください。

1. 受講したい人は、事務室に申込書を提出してからテストを受けなければならない。
2. 受講したい人は、事務室で申込書をもらい、テストを受ける教室でそれを提出する。
3. 受講したい人で、春のコースを受けた人は、テストは免除される。
4. 受講したい人は、9日の午後5時までに申込書を提出して、テストを受けなければならない。

V 次の文章で筆者が最も言いたいことはどれですか。

5

考えるという行為は、その考えが何らかのかたちで表現されてはじめて意味を持つものです。よく会議などで、腕組みをして目をつぶり、何もいわずに黙ったままの人がいます。思慮深そうに見えるものですから、何もいわない分だけ、きっとすごいことを考えているに違いない、と思ってしまうこともあるでしょう。たしかに、「沈黙は金」の日本社会では、黙っていることのほうが、気軽に意見をいうよりも「賢く」見えることがないわけはありません。しかし、頭の中で、どんなにすごいことを考えていたとしても、それを他の人に表現しないかぎり、その考えは、ないに等しいのです。

(荻谷剛彦『知的複眼思考法』講談社)

1. 軽々しく口を開かず、よく考えたほうがいい。
2. 気軽に意見をいう人は、思慮が浅い。
3. 考えたことは、人に伝えなければ意味がない。
4. 考えたということは、それだけで価値がある。

Ⅵ 次の文章で筆者が最も言いたいことはどれですか。

6

我々の生活には、思い通りに行かないことが多い。思い通りに行かないとストレスを感じる。誰かに命令されて意に添わ<sup>だれ</sup>ないことをしなければならないときのように、嫌だと感じるものに対して、我々はストレスを感じる。自分の内部からではなく外部から与えられる圧力を悪い意味にばかり解釈している。しかし、我々の意欲を高めがんばろうという気持ちにさせる力も同じく、外部から与えられることが多い。エネルギーの作用から考えれば、それも同じ圧力ではないのか。自分にかかる圧力が、プラスのものかマイナスのものか、それは自分の心が決めるのだと思う。嫌な仕事にストレスを感じることは多い。けれども、その仕事に自分なりの意味付けをすれば、楽しく感じられるようになるだろう。外部からの力を自らの力に転換する工夫が、人生を豊かにする。

1. 意欲を高めるためには、外部からの圧力をなくすことが必要だ。
2. 人生を本当に豊かにするのは、実はマイナスの圧力だ。
3. 自分の解釈だけで物事の良し悪しを決めてはいけない。
4. 嫌なことでも価値を見いだせば、楽しめるようになるのだ。

VII 次の文章は美術品の修復に関する記事です。修復作業で、現在重視されていることは何だと言っていますか。

7

日本の古い絵画や書など、美術品を修復する仕事とはどんなものなのだろうか。修復作業関係者に話をきいた。

例えば、絵画の修復では、オリジナルの絵の具がはがれ落ちるのを防いだり、切れそうな紙をつなぎ合わせたりするが、それに先立ち、前回修理した部分を取り去る作業が必要なのだという。実はここで、百年以上も前に修理した職人の仕事の良し悪しがわかるのだそうだ。

従来、修復作業は、どこを直したかが判らないような仕上がりがよいとされていた。しかし、現在は傷みの進行を食い止めることが大切なのだという。また、この先再び修理するときのことも考えて作業するのだそうである。

昔の美術品に使用されたものと同じ紙や絹の素材も、時代とともに手に入らなくなってきているという。また、同じ素材を用いて直しても、傷みやすかったり、時代を経た美術品には合わなかったりすることもあるらしい。そこで、近年は素材に人工的な加工を用いるなど、修復作業も科学の力に負うところが多くなってきているという。

(松岡資明「匠の技 歴史の名品 命継ぐ」日本経済新聞 2003年2月8日夕刊 を参考に作成)

1. 昔の職人の修理方法をチェックすること
2. これ以上傷んでいかにようにすること
3. 直した場所がわからないように仕上げること
4. 昔どおりの素材を使って直すこと

Ⅷ 次の文章で筆者は今後、何が最も必要だと言っていますか。

8

野鳥の分類や生態などについては、わが国でも研究が進み多数の報告書や論文が発表されるようになった。しかし、野鳥保護を考えたとき、その鳥の生態とともに、もう一つ重要なのは個々の種類についての数量的なデータではないだろうか。例えば、「この種類は、正確には何羽程度生息しているのだろうか」といった基本的なものから、それらを総合して「野鳥は減っているのか、あるいは増えているのか」などについて正確な情報が重要であるが、残念ながら、これらについては、まだまだ十分な情報が集められているとは言えない。

(岡本久人他『野鳥調査マニュアル——定量調査の考え方と進め方』東洋館出版社)

1. 野鳥保護の明確な定義
2. 野鳥の種類と生息地についての情報
3. 野鳥の分類や生態についての研究
4. 野鳥の正確な数の把握

IX 次の文章で筆者は、言語能力について何と書いていますか。

9

私どもにとっての母語、つまり生まれてこのかた最初に身につけた言語、心情を吐露しモノを考えるとときに意識的無意識的に駆使する、支配的で基本的な言語というのは日本語である。第二言語すなわち最初に身につけた言語の次に身につける言語、多くの場合外国語は、この第一言語よりも、決して決して上手くはならない。単刀直入に申すならば、日本語が下手な人は、外国語を身につけられるけれども、その日本語の下手さ加減よりもさらに下手にしか身につかない。コトバを駆使する能力というのは、何語であれ、根本のところでは同じなのだろう。

(米原万里『不実な美女か貞淑な醜女か』新潮社)

1. 第一言語を超えるほどには第二言語はうまくならない。
2. 方法を選べば第一言語より第二言語のほうがうまくなる。
3. より多くの外国語を学んだほうが母語はうまくなる。
4. 外国語の能力と母語の能力の間には関連がない。

X 次の文章では、人類が言語を獲得した時期について述べています。筆者は、脳の容積と言語獲得との関係について、どのように考えていますか。

10

言語を生み出す土台となる脳の容量、あるいはその形態的特徴から、人類が言語を獲得した時期を推定する試みがある。頭蓋骨から推定される人類の脳の容積は年代とともに徐々に増大してゆき、今日のような脳のサイズに至っている。中でもこの脳の容積が急激に増大して現代人のそれに近づく時期が、人類が言語を獲得した時期を推定するうえで有力な資料になるとされている。…（略）…

ヒトの脳はチンパンジーなどの類人猿にくらべて格段に大きなサイズをもち、これと言語活動とは不可分の関係にあることはわかる。しかし、脳の一定以上の容量や現代人の脳に近似した左右大脳半球の大きさの違いなどの脳の形態上の特徴は、その言語のための神経回路網形成の必要条件の一つではあるが、脳の形態的特徴がそのまま言語発生のための脳機能を示すものとはいえず、言語獲得のための十分条件とはなりえないと考えられる。脳の発達と言語とは不可分の関係にあるが、形態のみからその機能を推定するのはやや大胆にすぎると思われる。

（本庄巖『脳からみた言語——脳機能画像による医学的アプローチ——』中山書店）

1. 人類は、脳の容積が急激に大きくなった時期に言語を獲得した。
2. 言語獲得の時期は、脳の容積だけを根拠にして特定することはできない。
3. 脳の容積についてもっと調べなければ、言語獲得の時期はわからない。
4. 脳の容積と言語の獲得との間には、あらゆる意味において関係はない。

このページには問題はありません。  
次のページに進んでください。



X I 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

所有権があいまいな資源は、劣化しやすい。逆に、だれのものかがはっきりしている資源は劣化しにくい。

森がだれのものか明らかでなく、だれでも自由に\*焼畑やきはたを作ることができるなら、農民に森を大切にしようとする動機は生じない。手間をかけて元の森に回復させたところで、自分が次も耕作できるとは限らない。おそらく他のだれかが、そこを焼いてしまうだろう。それなら、畑の地力が下がったら、そこは放棄して他に移動するほうが合理的である。

しかし、森の所有権が個人に与えられて、持ち主以外の利用を排除することができれば、人口が増えても資源劣化は生じにくい。「自分の森」ならば大切に使われるからだ。そして、森の所有者が焼畑だけでは長期的には食べていけないということになれば、所有者は生産方式を変えるなどの工夫をして、森を守ろうとするだろう。

(藤倉良他『文系のための環境科学入門』有斐閣)

\*焼畑：畑の地力が衰えると別の森に移り、その森を焼いて畑を作る農法

問1 下線部「そこは放棄して他に移動するほうが合理的」なのはなぜですか。

11

1. みんなの賛成が得られるから
2. 労力を費やしても無駄になるから
3. 倫理的に正しいから
4. 昔ながらの方法を守るから

問2 この文章で筆者は、どのようにすれば人々が資源を守ろうとすると述べていますか。

12

1. 資源を自由に利用できるようにする。
2. 人口が増え過ぎないようにする。
3. その資源がだれのものかを明確にする。
4. 焼畑やきはたを規制して森を守る。

X II 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

コミュニケーションの目的は、情報、知識、感情、意思などを「分かち合う」ことです。分かち合うとは「相手と同じものを持つ」ことです。それができて初めてコミュニケーションが成り立ったといえます。

ところが、人それぞれに考え方の枠組みがあり、自分と同じ枠組みを持った人はいません。自分の枠組みのなかで正しく伝えたと思っても、相手は相手の枠組みで解釈するので、別の意味になる可能性があります。そこにコミュニケーションの難しさがあるのです。

( A ), 上司が部下に「考えておいてくれ」と言ったとします。上司のコンテキストでは、「検討しろ」という命令を意味しているのかもしれませんが。ところが部下のコンテキストでは、「検討に値するかどうかを判断せよ」というように解釈するかもしれません。そうすると、「やれと言ったのに!」「そんなの聞いていません!」という議論になってしまいます。物理的に情報が伝わっていても、その意味が伝わらなかったからです。

(堀公俊『ファシリテーション入門』日本経済新聞社)

問1 ( A )に入るものとして最も適当なものはどれですか。

13

1. とはいえ
2. 一方
3. そこで
4. たとえば

問2 下線部「物理的に情報が伝わっていても、その意味が伝わらなかったからです」というのはどういうことですか。

14

1. 部下は上司の命令を聞いたが、二人の解釈は異なっていた。
2. 部下は上司が命令したことを知らなかった。
3. 部下は上司の命令の意味がわからなかったのに確認しなかった。
4. 部下は上司の命令を聞いたが、無視した。

XⅢ 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

内発的動機というのは、外から強制されたわけではなく、その人自身が「おもしろそう」と思って何かをしよう、したいと思う気持ちです。このような気持ちから発する行為に対して報酬を与えると、報酬を与えられた人のその後の内発的な動機付けに影響するでしょうか。また、報酬の与え方によって影響の仕方に違いが出るでしょうか。これらのことを調べるために行われた実験を紹介します。

実験の対象となったのは幼稚園の園児で、みんな絵を描くのが好きな子どもたちです。絵の時間に子どもたちに色鉛筆を与えると、みんな喜んで絵を描きます。この子どもたちを三つのグループに分けました。一つめのグループには、「じょうずに絵を描いたら\*ご褒美をあげる」と予告しておき、絵を描いた後にこのグループの子どもたち全員にご褒美をあげました。二つめのグループには、ご褒美について何も予告しなかったけれども、最後にグループ内の子どもたち全員にご褒美をあげました。三つめのグループには、何も予告せず、何のご褒美もあげませんでした。

数日後の絵の時間に、ご褒美の予告をせずに子どもたちに色鉛筆を与えたところ、進んで絵を描いた子は、一つめのグループでは、二つめ三つめのグループの場合の半分くらいしかいませんでした。つまり、(1)一つめのグループの子どもたちの内発的動機は、(2)他の二つのグループに比べて低くなっていたと言えます。

(山岸俊男『社会的ジレンマ』PHP研究所 を参考に作成)

\*ご褒美：ほめて与える品物

問1 下線部(1)「一つめのグループの子どもたち」と(2)「他の二つのグループ」では、最初に絵を描かせたとき、どのような点で違いがありましたか。

15

1. 上手な絵を描いたかどうか。
2. ご褒美をもらったかどうか。
3. ご褒美をもらった子が、グループの中の全員だったかどうか。
4. 絵を描く前に、後でご褒美をあげると言われたかどうか。

問2 この実験で、内発的動機が低くなったのは、どの場合ですか。

16

1. 報酬を予告して、実際に与える。
2. 報酬を予告するが、実際には与えない。
3. 報酬を予告しないが、実際には与える。
4. 報酬を予告しないし、実際にも与えない。

XIV 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

毒があつて味がまずい種類の動物は、そのことを強調して示すために、警告色と呼ばれる派手な色をしていることが多い。また、毒がなくて無害な種が、実際に毒があつてまずい種に似せる、ベイツ型擬態というものがある。これらはなぜ信用されるのだろうか？

… (略) …

毒があつてまずいことを知らせる警告色は、赤、黄色、黒といった縞しまや斑点はんでんであることが多い。これらの色素を作りだすにもコストがかかる。こういった化学物質の多くはカロチノイド系であるが、これらを合成するのは、それほど簡単なことではない。ベイツ型擬態で、毒のあるものに擬態している種類も、実際に毒はないものの、色を出す化学物質は自ら作っているのであり、ただで楽々とまねしているわけではないのだ。

ベイツ型擬態の場合など、本当には毒ではないのだから、敵は、それを見分けることができた方がよいだろう。しかし、非常によく似たものを見分けるには、また、見分ける側にコストがかかる。そして、中途半端に見分けて失敗したときのコストは、さらに大きくなるだろう。そこで、「一応、どれも信用する」という無難な手をとっているのかもしれない。

(長谷川眞理子『科学の目 科学のこころ』岩波書店)

問1 実際に毒がない動物は、毒がある動物をどのようにまねしていますか。

17

1. 毒のある動物が体外に出す化学物質を利用する。
2. 毒のある動物と似た色の化学物質を合成する。
3. 味がまずく感じられる化学物質を出す。
4. 実際に毒のある化学物質を作り出す。

問2 下線部「一応、どれも信用する」の意味として、最も適当なものはどれですか。

18

1. どんな色の動物も毒がないと思う。
2. どんな色の動物も毒があると思う。
3. 警告色ではない動物も毒があると思う。
4. 警告色の動物はすべて毒があると思う。

XV 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

一般に買い物の決断というのは、消費の現場でなされることが多い。何をかうか、あらかじめ決めている人は少数派で、実際に店に行って、あれこれ見て、手にとってみて、よし、これにしようとする人が多い。そして売上げは、「客が店にいる時間が長ければ長いほど大きくなる」といわれている。つまり、消費の意思決定はお店でなされることが多く、そのお店になるべく長くいてもらうようにすれば、売上げが伸びる、ということだ。

もちろん長居をしても何も買わずに帰る人もいる。それでもいいのだ。なぜなら、それらの中には、何も買わなかったけれど、「へえ、こんな商品があるんだ。面白いなあ」とか「いつかこんな素敵な椅子をうちのリビングにも置いてみたい」などと思う人が必ずいるからだ。

滞留時間の長さは、お客が感動する機会を増やし、次の来店、次の購買につながるのである。顧客満足度ではなく顧客感動度が、将来の売上げになっていくのだ。それだけにお客がじっくりと見て歩き、買い物のできるようなお店づくりはとても重要になる。

(川北義則「『ない』といわれたところに市場はあった!」PHP研究所)

問1 筆者の考えている店づくりが、あまり効果的でないのはどのような人たちですか。

19

1. あらかじめ決めているものだけを買ってすぐ帰る人
2. 店で、あれこれ見てから買う人
3. 長居をしても何も買わずに帰る人
4. 「こんな商品があるんだ。面白いな」などと思う人

問2 この文章で述べられているのは、どのような考え方ですか。

20

1. 何をかうかをすでに決めている客が多ければ、売上げがあがる。
2. 店に来る客の数が多いほうが、商品を買う客の数も多くなる。
3. 買った商品に満足すれば、客はまたその店で買い物をする。
4. 店に長くいて商品に心を動かされた客が、商品を買うことが多い。

XVI 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

私たちは、プロの苦勞を知らないまま、安易に批判してしまうことがある。先生の立場では、子どもの教育上、どうしても指導しておかなければならないことがあるものだが、子どものうちはそれが分からず理不尽に感じたりする。大人になっても、道路が渋滞するのは行政が悪いと決めつけることもある。

もちろん、プロが必ずしも正しいわけではないし、プロだからこそ常に外部からの厳しい評価を受ける必要があるのだから、筆者は<sup>(1)</sup>これが間違っていると言いたいわけではない。ただ、プロが当該の問題にどのように取り組み、何に悩み、どんな工夫をし、その上で現状はどこまで来ているのかを知っているのと知らないのとでは、主張の冷静さや現実性が違って来ようと言いたいのだ。

メディアに対しても同様だ。私たちは安易に、「テレビなのに間違いを報道した」「新聞なのに大事な記事がちょっとしか書かれていない」などのように批判してしまう。テレビが結果的に誤った報道をしてしまったのは、少しでも早くニュースを伝えたかったからではないか。不正確な情報を流すことはとがめられるとしても、その背景にある思いや願いを無視することは身勝手すぎないか。新聞に大きく取り上げられないのは、その人にとっては大事な記事でも、読者一般に対してはそうでもないということではないか。あるいは当日の他のビッグニュースとの関係ではないか。このように、メディアの発信側の意図に迫ってみることで、<sup>(2)</sup>単純な怒りからは解放されていくのだ。

(堀田龍也『メディアとのつきあい方学習』ジャストシステム)

問1 下線部(1)「これ」とは何ですか。

21

1. プロを批判すること
2. プロが必ず正しいこと
3. プロが厳しい評価を受ける必要があること
4. プロが当該の問題に取り組むこと

問2 下線部(2)「単純な怒りからは解放されていく」というのは、どういうことですか。

22

1. メディアの不正確な情報を信用するようになる。
2. メディアの情報を自分の都合に合わせて解釈するようになる。
3. 個人的、表面的な見方でメディアを批判することがなくなる。
4. メディアの情報を無視するようになる。



XⅦ 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

仕事の上で発生する問題には、大きく分けて3つの種類があります。

1つは発生する問題、いわゆるトラブルです。顧客からクレームが発生した、工場のラインが止まった、など突発的に起こる問題です。

これらは放置しておくわけにはいかないから、必ず問題として取り上げられ、対処が進められます。ただし、対処をしてもそれは基本的に「現状復帰」のための対処であり、この手の問題を解決しても現状がよりよくなるわけではありません。つまり「守りの問題」なのです。

これに対して、2つ目に発見する問題があります。「( A )」「取引先の債権回収率が悪い」などの慢性化した問題が該当します。こうした問題は、慢性化して慣れが生じると「たいしたことではない」と見過ごされ、日常化し、問題として取り上げられなくなる危険があります。しかし、こうしたところにスポットライトをあてて改善活動に取り組むと、状況をよくすることができます。

3つ目は創る問題です。「新しいビジネスを始めよう」というようなものです。問題というよりは「さらなる成長のために取り組むべき課題」という方がふさわしいでしょう。やらなくても今までどおり仕事は回っていくから、自ら積極的に見つけ出さない限り発生することはありません。しかしこれを発掘して取り組むことで、新しい可能性を生み出すことができます。改革型の問題だといえます。

… (略) …

2つ目の「発見する問題」と3つ目の「創る問題」は、取り組むことで現状を変えることができます。つまり攻めの問題といえます。本来、企業が取り組まなければならないのは、この攻めの問題です。守りの問題を解決することに徹していても、そこには成長はありません。攻めの問題にチャレンジしてこそ、組織も人も成長します。

これから求められるのは将来を切り開く力を持った人材です。現状の事業の枠組みを維持するだけでは、市場の動きに対応できずに淘汰されてしまいます。… (略) …

現状に漠然と満足するのではなく、「今、何をすべきか」を考え、現状を打破し、常に新しい可能性を生み出す努力を続けることができる人材が必要とされているのです。

(西村克己『問題解決トレーニング』イースト・プレス)

問1 ( A ) に入るものとして最も適当なものはどれですか。

23

1. お客様の注文内容を間違えた
2. 工場の不良品の発生率が高い
3. 工場で事故が発生した
4. 急に注文が増えた商品の生産が追いつかない

問2 「発生する問題」「発見する問題」「創る問題」の重要度を適切に示しているのは、  
どれですか。(A<B：AよりBのほうが重要, A=B：AとBの重要度は同じ)

24

1. 発生する問題=発見する問題=創る問題
2. 発生する問題<発見する問題=創る問題
3. 発生する問題>発見する問題=創る問題
4. 発生する問題>発見する問題>創る問題

問3 筆者は、これからの人材に求められることは何だと述べていますか。

25

1. 攻めの問題に取り組み、現状を改革する力
2. 問題解決のために、人と協力して取り組む力
3. 直面した問題を分析し、解決法を見つける力
4. 小さい問題も見過ごさずに対応し、現状を維持する力

—— このページには問題はありません。 ——

# 聴読解問題

## 説明

聴読解問題は、問題冊子に書かれていることを見ながら、音声を聴いて答える問題です。

問題は一度しか聴けません。

それぞれの問題の最初に、「ポーン」という音が流れます。これは、「これから問題が始まります」という合図です。

問題の音声の後、「ポーン」という、最初の音より少し低い音が流れます。これは、「問題はこれで終わりです。解答を始めてください」という合図です。

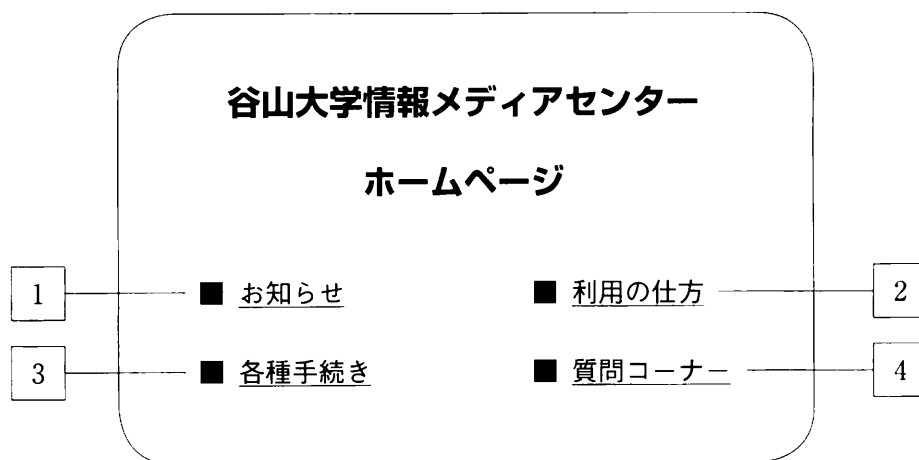
選択肢1, 2, 3, 4の中から答えを一つだけ選び、聴読解の解答欄にマークしてください。

1番の前に、一度、練習をします。

## 聴読解問題

## 練習

学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選ばばいいですか。



1 番

女子学生と男子学生が、雑誌を見ながら話しています。この男子学生はどの方法を試すと言っていますか。

1

# 不眠症



## 健康な睡眠習慣を保つためのアドバイス

- 1 ◆ふとん、ベッドは、眠ること以外に使わない。
- 2 ◆寝るときに、極端に空腹だったり満腹だったりしないようにする。
- 3 ◆毎朝、決まった時間に起きる。
- 4 ◆20分たっても眠れない場合は、一度ふとんから出て気分転換をする。

(「Sleep Hygiene」 <http://www.sleepeducation.com/Hygiene.aspx> を参考に作成)

## 2 番

先生が、動物を使ったアニマル・セラピーの分類について話しています。この先生が最後に挙げる例は、表のどれにあたりますか。

2

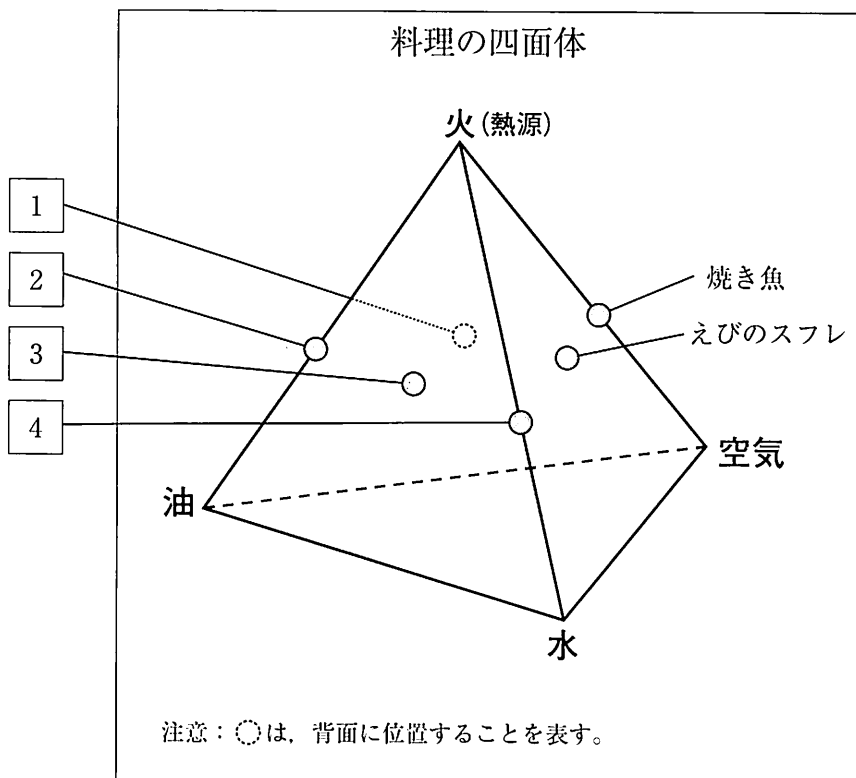
場所 活動	施設	自宅
訪問	1	2
飼育	3	4

(横山章光『アニマル・セラピーとは何か』日本放送出版協会 を参考に作成)

3 番

先生が、調理法を表す図について説明しています。この先生が最後に挙げた例は、図のどこに位置しますか。

3



(玉村豊男【料理の四面体】文藝春秋 を参考に作成)



## 4 番

女子留学生と男子学生が大学の交流会について話しています。この女子留学生はどの係をしてみようと思いましたか。

4

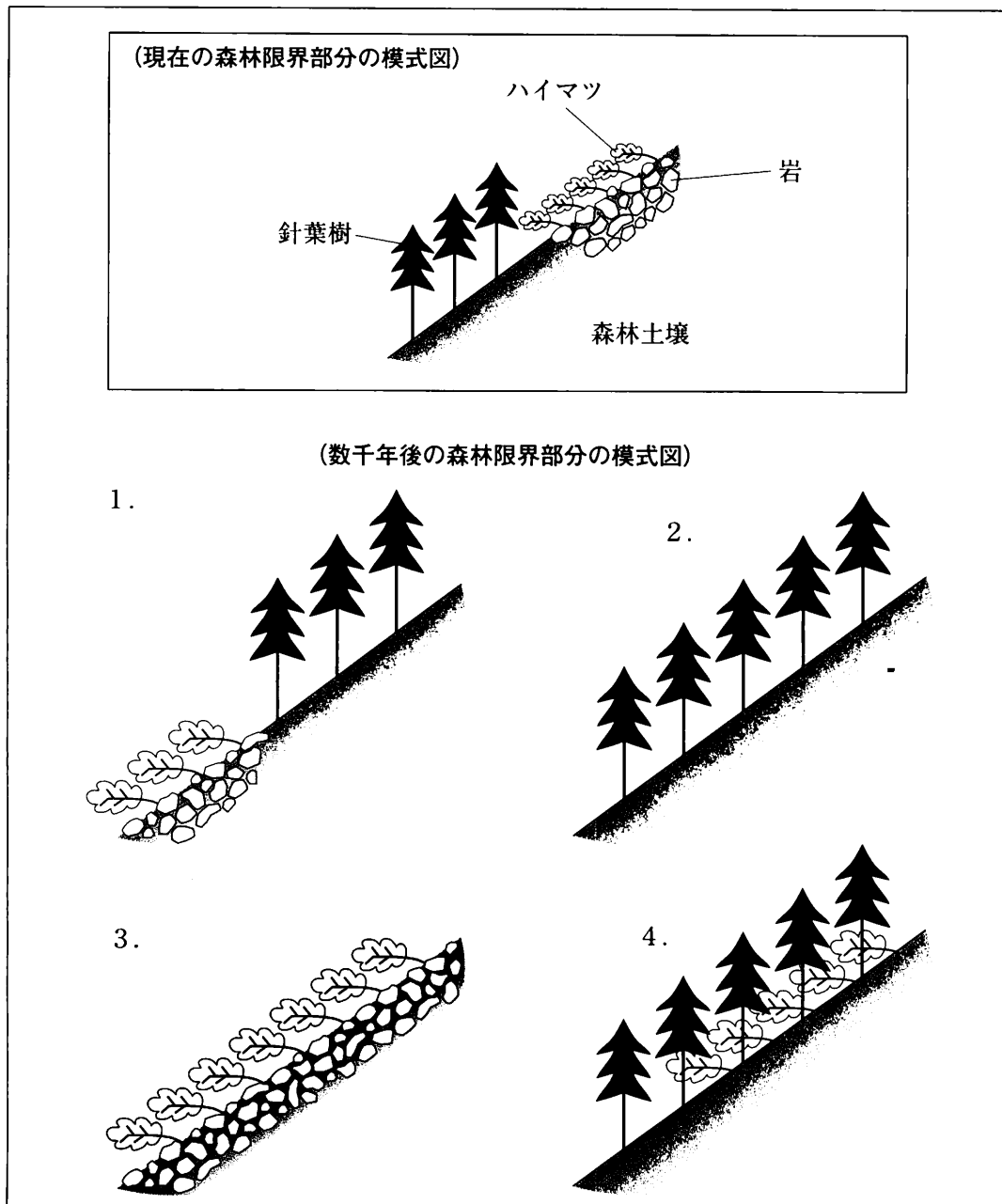
「九重大学・サイエンス同好会」主催  
秋島大学との交流会 進行メモ

〈予定〉	〈係〉	
14:00 秋島大生, 本校到着		
14:10 秋島大生, キャンパス見学	学内案内 (3名)	1
15:00 自己紹介とグループ分け 2号館 ホール	司会	
15:30 テーマ別ディスカッション	グループリーダー (5名)	2
	記録 (5名)	3
16:20 両校代表のスピーチ	各校代表	4
16:30 懇談会 (軽食)	司会・スタッフ全員	

5 番

先生がある山の森林について図を見せながら説明しています。この先生は、この山の森林は、数千年後、どの図のようになると言っていますか。

5



(小泉武栄『山の自然学』岩波書店 を参考に作成)

## 6 番

先生が、社会言語学の授業で話しています。この先生はこれから教科書のどの部分について詳しく話しますか。

6

## 社会言語学入門

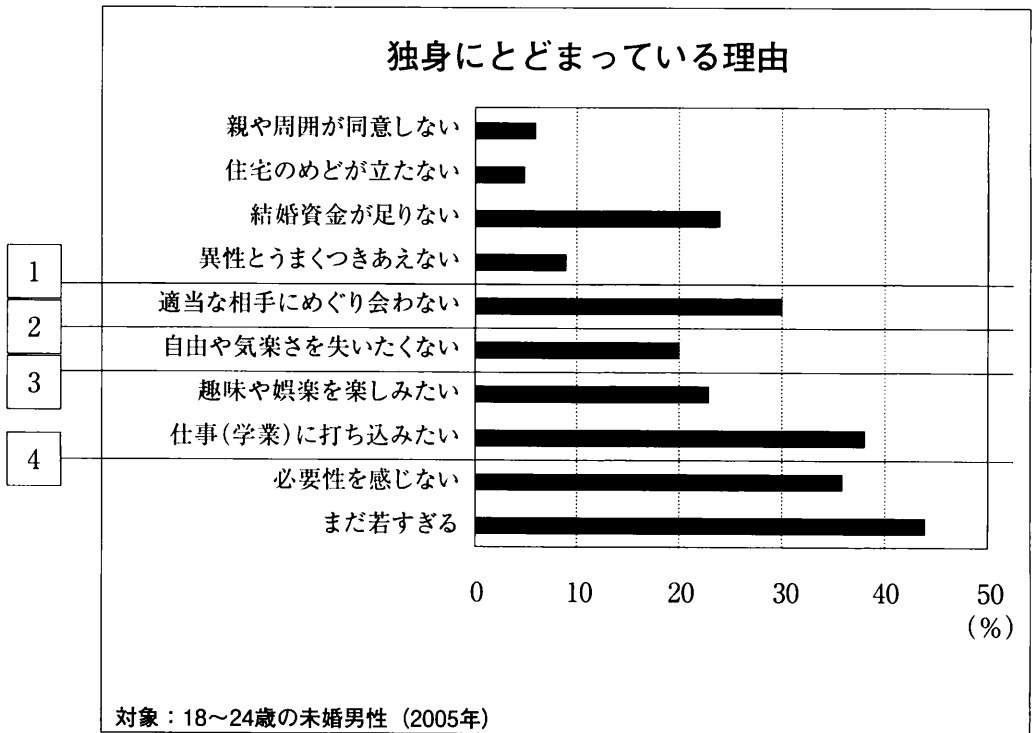
## 目 次

	I. 社会言語学の研究分野……………	5
	II. 言語使用者の属性とことばの変種……………	14
	1. 地域差によることばの変異	
	2. 年齢差, 性差などによることばの変異	
	3. 集団語	
	III. 言語行動……………	20
1	1. 場面によるコードの切り替え・敬語	
	2. コミュニケーション行動など	
	IV. 言語接触……………	28
	1. 外国語からの借用	
2	2. 複数言語の併用・使い分け	
	V. 言語変化……………	34
	1. 共通語化	
3	2. 新しく生まれる方言	
	VI. 言語意識……………	43
4	1. ことばの規範	
	2. アイデンティティー	

7 番

男子学生と女子学生が発表で使うグラフについて話しています。この男子学生は、項目をどこから二つに分けると言っていますか。

7

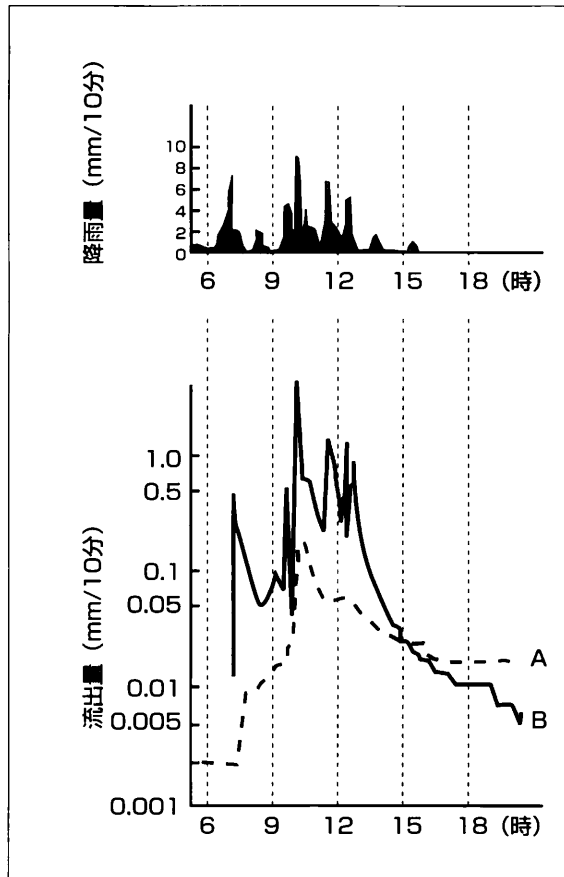


(国立社会保障・人口問題研究所「第13回出生動向基本調査 結婚と出産に関する全国調査 独身者調査の結果概要」[http://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou13\\_s/Nfs13doukou\\_s.pdf](http://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou13_s/Nfs13doukou_s.pdf)を参考に作成)

## 8番

先生が、雨水の流出量について話しています。線Bはどのようなことを表していますか。

8



森林地と岩山の流出量時間変化の比較

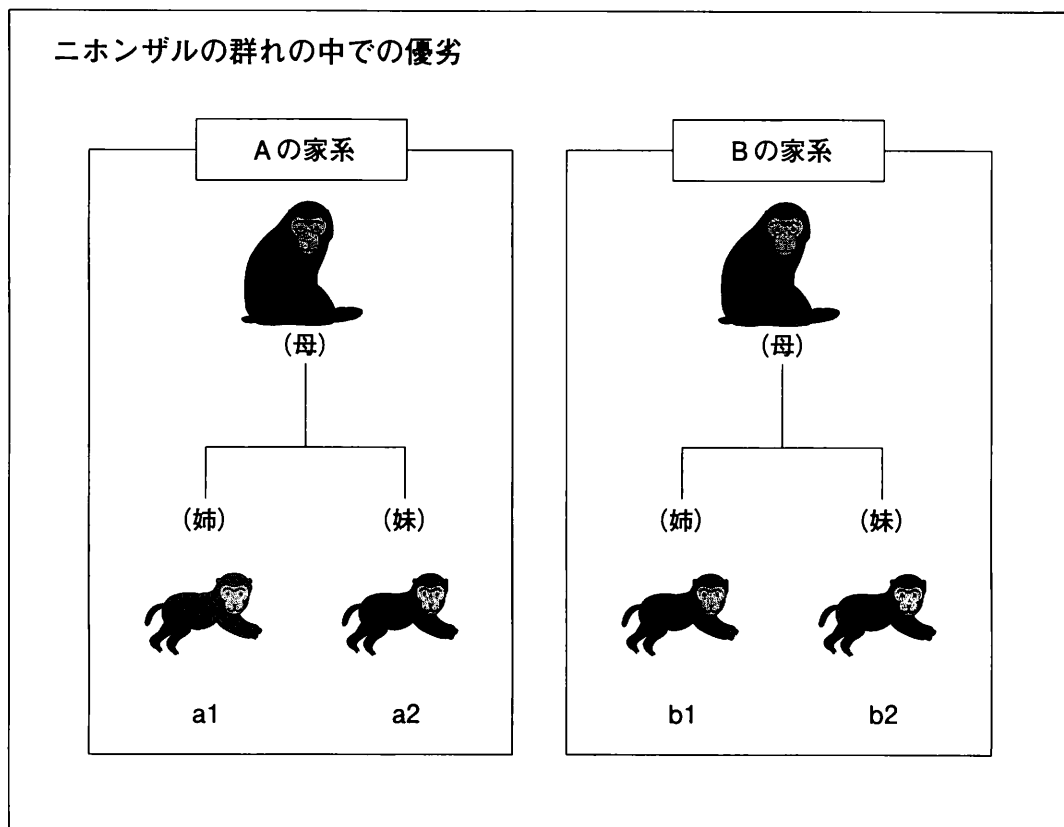
(窪田順平「森林と水 神話と現実」【科学】第74巻第3号 岩波書店 を参考に作成)

1. 岩山の斜面では、雨水が急激に流出すること
2. 岩山の斜面では、雨水がゆっくり流出すること
3. 森林の斜面では、雨水が急激に流出すること
4. 森林の斜面では、雨水がゆっくり流出すること

9 番

先生が動物学の講義で、ニホンザルの、群れの中の優劣について説明しています。この先生の説明によると、資料のそれぞれの子どもの順位はどうなりますか。

9

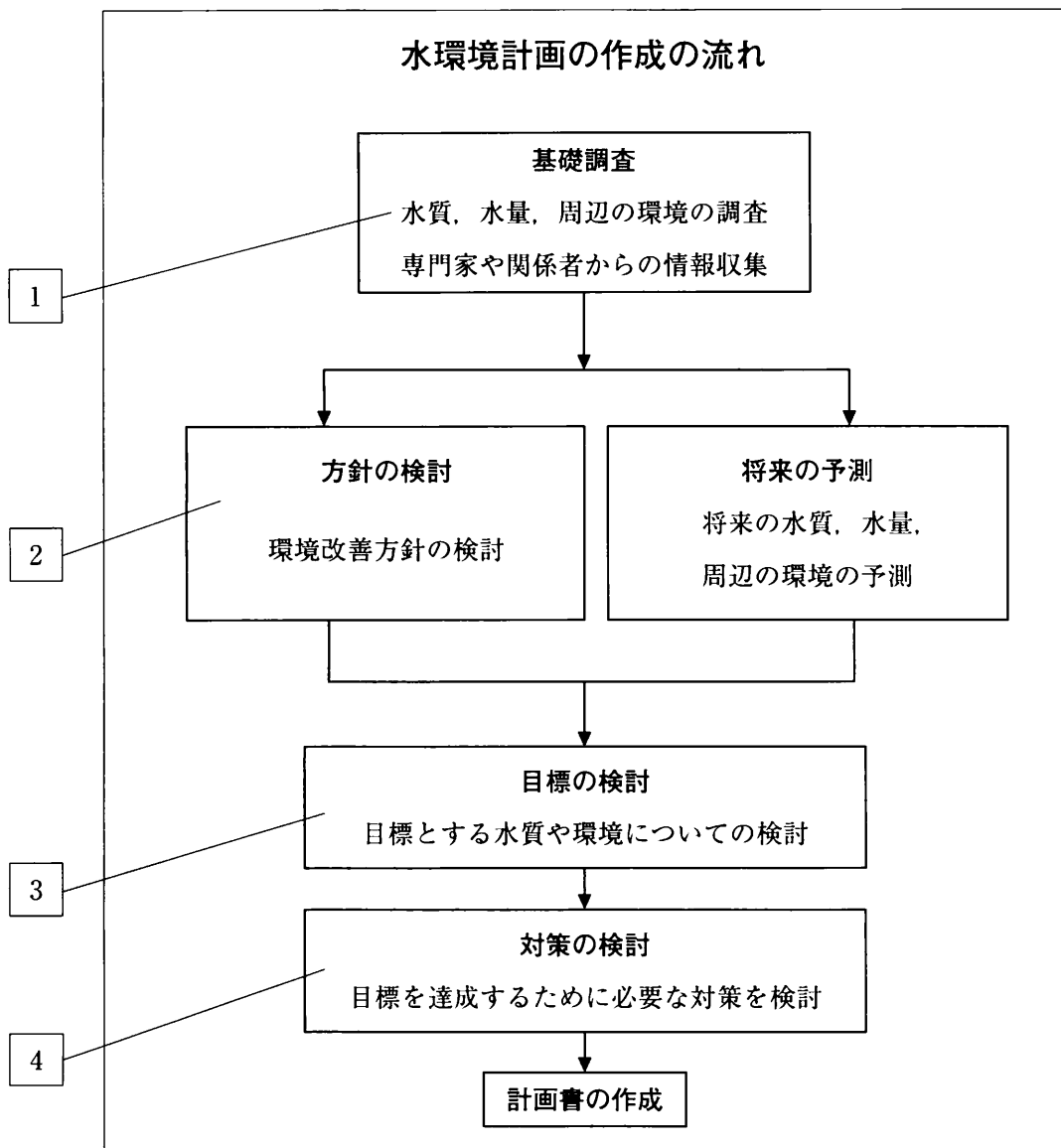


1. a 1 → a 2 → b 1 → b 2
2. a 2 → a 1 → b 2 → b 1
3. b 1 → b 2 → a 1 → a 2
4. b 2 → b 1 → a 2 → a 1

## 10番

先生が、川的环境改善計画について話しています。この先生が例に挙げる自治体が、十分に行っていなかったのは、図のどの段階だと言っていますか。

10

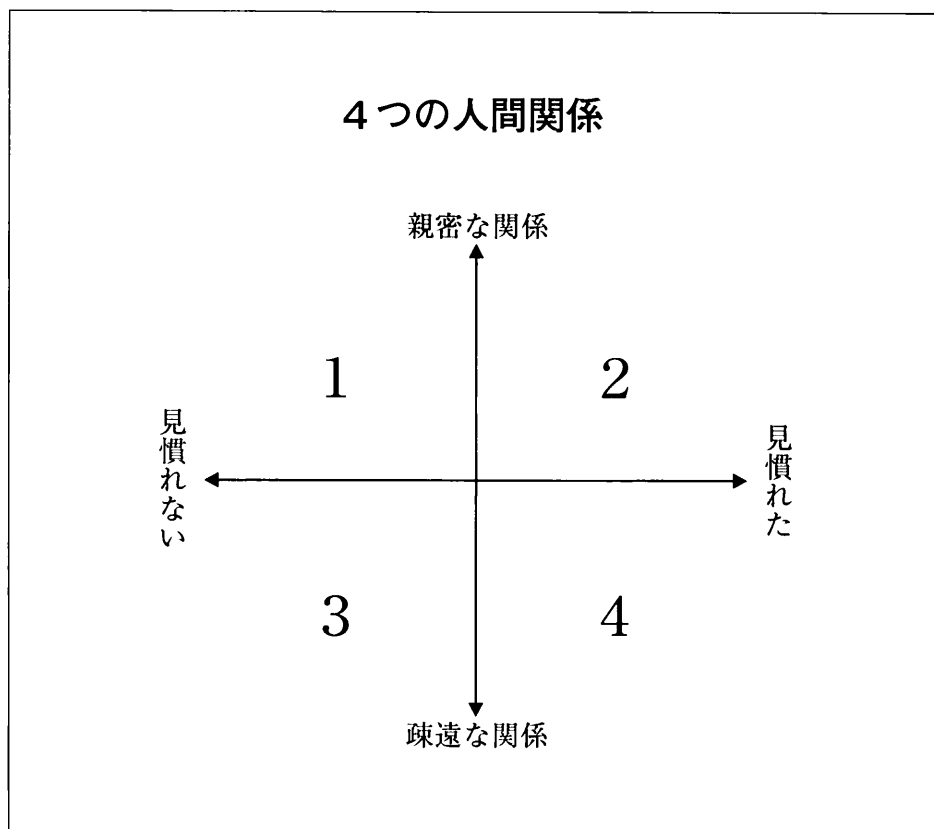


(青山芳之『環境生態学入門』オーム社 を参考に作成)

11番

先生が、心理学の授業で、人間関係の変化について説明しています。この先生が最後に挙げる人間関係の例は、図のどこにあたりますか。

11



(富田英典「都市空間とケータイ」岡田朋之他編『ケータイ学入門』有斐閣 を参考に作成)



## 12番

先生が、「ピクトグラム」について話しています。この先生がプリントの例について説明している工夫は、どの項目にあたりますか。


12

ピクトグラム - 視覚記号の一種

ピクトグラムのデザインに必要なこと

1	—	視認性
2	—	理解度
3	—	記憶度
4	—	調和性

例) 非常口のピクトグラム



(ポーポー・ポロダクション【デザインを科学する】ソフトバンク クリエイティブ を参考に作成)

——— このページには問題はありません。 ———

# 聴解問題

## 説明

聴解問題は、音声を聴いて答える問題です。問題も選択肢もすべて音声で示されます。問題冊子には、何も書かれていません。

問題は一度しか聴けません。

このページのあとに、メモ用のページが3ページあります。音声を聴きながらメモをとるのに使ってもいいです。

聴解の解答欄には、『正しい』という欄と『正しくない』という欄があります。選択肢1, 2, 3, 4の一つ一つを聴くごとに、正しいか正しくないか、マークしてください。正しい答えは一つです。

一度、練習をします。

この問題冊子を持ち帰ることはできません。

— ヌ 毛 —

— ヌ 毛 —

— ヌ 毛 —

# 平成22年度日本留学試験(第1回)試験問題 正解表

〈日本語〉

記述 問題解答例を329ページに掲載

読解			
問	解答欄	正解	
I	1	4	
II	2	1	
III	3	3	
IV	4	1	
V	5	3	
VI	6	4	
VII	7	2	
VIII	8	4	
IX	9	1	
X	10	2	
XI	問1	11	2
	問2	12	3
XII	問1	13	4
	問2	14	1
XIII	問1	15	4
	問2	16	1
XIV	問1	17	2
	問2	18	4
XV	問1	19	1
	問2	20	4
XVI	問1	21	1
	問2	22	3
XVII	問1	23	2
	問2	24	2
	問3	25	1

聴読解			聴解		
問	解答欄	正解	問	解答欄	正解
1番	1	4	13番	13	1
2番	2	3	14番	14	2
3番	3	3	15番	15	4
4番	4	1	16番	16	4
5番	5	4	17番	17	2
6番	6	3	18番	18	2
7番	7	2	19番	19	4
8番	8	1	20番	20	3
9番	9	2	21番	21	3
10番	10	1	22番	22	2
11番	11	1	23番	23	1
12番	12	2	24番	24	2
			25番	25	4
			26番	26	1
			27番	27	3

## 「記述」問題解答例

①

新聞に目を通せば、その日世界のどこで何が起きたのかを効率よく把握できる。このため、新聞を読めば世の中の動きがよくわかると考えられているのだろう。それに、新聞では出来事の重要性によって、記事の大きさが変わるので、読むべきニュースが一日でわかる。インターネットでは、大量の情報から自分で取捨選択しなければならないので、大変だ。

また、新聞なら、ふだんあまり興味がない話題でも記事が日に入れば本文も読むので、幅広い知識の蓄積に有効だ。インターネットでは見出しだけで判断するため、自分の関心領域や知識の幅は広がりにくい。

しかし、特定のニュースについて詳しく知りたい場合は、インターネットのほうが適している。最新情報が次々と配信されるし、関連記事へのリンクや映像や音声などによって、更に詳細な情報を得られるからだ。

私は、目的によって両者を使い分けるほうが良いと考える。つまり、特定のニュースについて調べる場合はインターネットを利用し、その日の主な出来事を知りたい場合は新聞を読むのが良いと思う。

②

面接試験では、その大学に入ることに對する受験者の熱意や人柄を知ることができる。さらに、入学後、よい学業生活を送るために大切な学問や校風への適性を判断できる。このようなことは、筆記試験では測れない。また、筆記試験で測っていた知識や学力は、面接で質問する内容を工夫することによって測れると思う。この場合、カンニングも防げる。したがって、学科試験をなくして、面接試験だけにすることで、受験生の資質や学力をより総合的に判断できるのではないか。

一方、短所としては、受験者と面接する先生との相性の問題がある。試験が面接のみの場合、たまたま相性の悪い先生と面接した受験者は不利になるかもしれない。また、受験者が多い場合は試験に時間がかかり、大学側の負担が大きくなる。

もし面接試験だけにするなら、複数の先生が面接する等、公平に合格者を決定できるしくみや、学科試験に充てていた時間・人員をうまく面接に使う等、大学の負担を減らす工夫が必要だ。そうすれば、受験者の能力を総合的に判断できる面接の長所は大きいので、とても良い案だと思う。



## 「記述」採点基準

「記述」の採点にあたっては、以下の基準に基づき採点し、それぞれの得点を表示します。

得点	基準
50点	(レベル S) 課題に沿って、書き手の主張が、説得力のある根拠とともに明確に述べられている。かつ、効果的な構成と洗練された表現が認められる。
45点	(レベル A) 課題に沿って、書き手の主張が、妥当な根拠とともに明確に述べられている。かつ、効果的な構成と適切な表現が認められる。
40点	
35点	(レベル B) 課題にほぼ沿って、書き手の主張が、おおむね妥当な根拠とともに述べられている。かつ、妥当な構成を持ち、表現に情報伝達上の支障が認められない。
30点	
25点	(レベル C) 課題を無視せず、書き手の主張が、根拠とともに述べられている。しかし、その根拠の妥当性、構成、表現などに不適切な点が認められる。
20点	
10点	(レベル D) 書き手の主張や構成が認められない。あるいは、主張や構成が認められても、課題との関連性が薄い。また、表現にかなり不適切な点が認められる。
0点	(NA) * 採点がなされるための条件を満たさない。

レベル A, B, C については、同一水準内で上位の者と下位の者を区別して得点を表示する。

\* 0点 (NA) に該当する答案は以下の通りである。

- 白紙のもの。
- 全文が日本語以外の言語で書かれているもの。
- 全文が課題文の引き写しで終わっているもの。
- 与えられた両方の課題 (①と②) について書かれているもの。
- 与えられた両方の課題 (①と②) の、どちらについて書かれているか判断できないもの。
- 与えられた課題とまったく無関係なことが書かれているもの (問題冊子の表紙等、課題と関係のない文章を引き写している、あるいは自己紹介で終わっている等)。
- その他、委員会の議を経て、0点とするに至当な理由があると判断されたもの。